

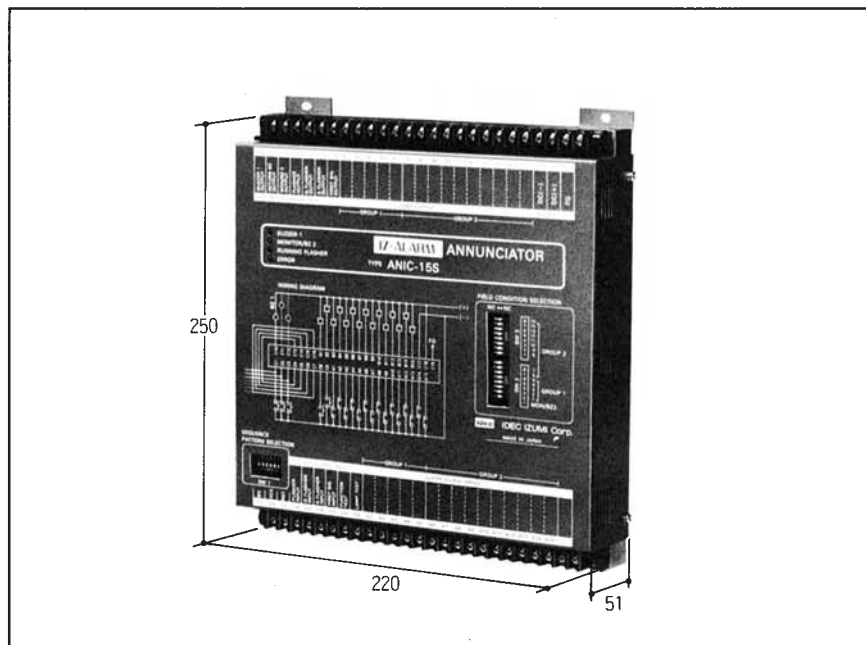
ANIC-15S形ワンボードアナンシェータ

MULTI-PATTERN ALARM ANNUNCIATORS

15回路、16種類のシーケンスパターン内蔵。

入・出力を接続するだけで簡単に警報システムができるワンボードタイプ!

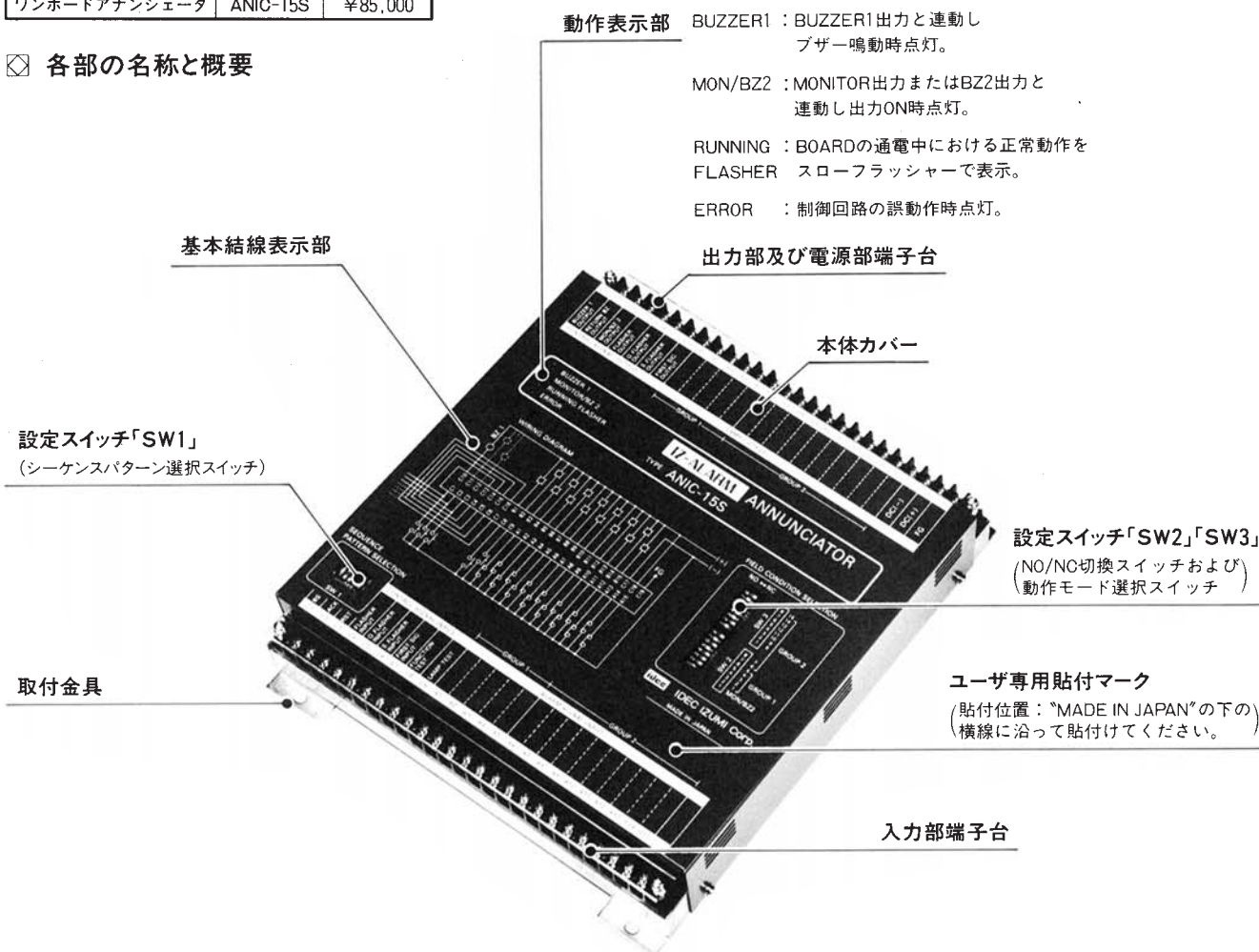
- 豊富な回路点数、シーケンスパターン、設計、配線工数を大幅削減。
- 1台で、1系統または2系統の警報システムが構成可能。
- プログラミングは設定スイッチのみで可能。
- 耐環境や耐ノイズ重視の高信頼性設計。
- フラッシュ3相、ブザーアンプ3回路を内蔵。
- フィールド信号はそれぞれの回路でノーマルオープン/ノーマルクロスの選択可能。
- ファーストアウト回路の分解能を低下させることなく、同期接続点数は最大30台(450点まで可能)。
- カードモジュールタイプ(和泉・ANLC形)との混在使用可能。



☒ 種類(形番・価格)

品名	形番	単価(税別)
ワンボードアナンシェータ	ANIC-15S	¥85,000

☒ 各部の名称と概要



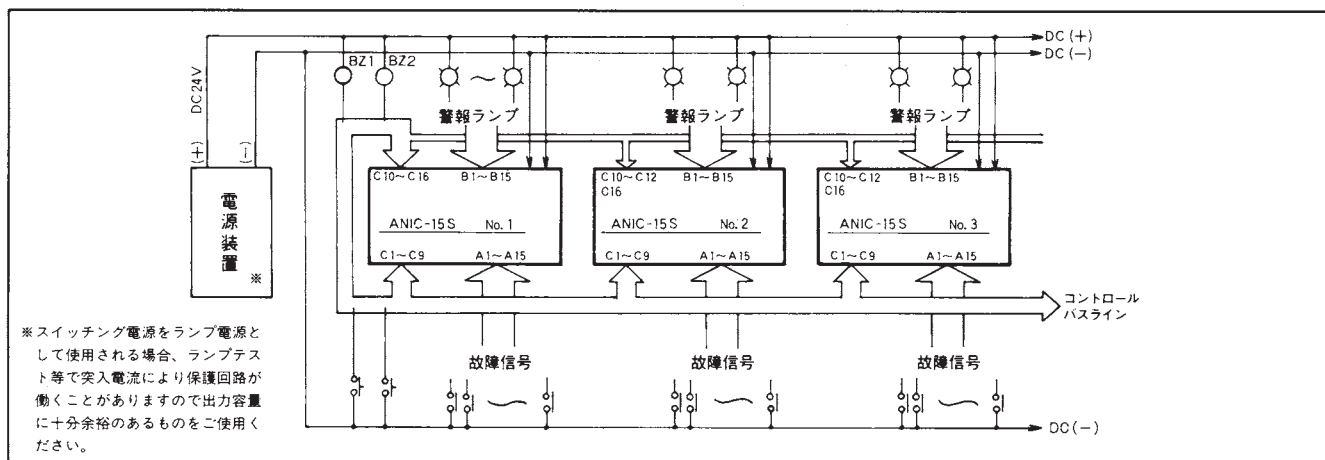
ANIC-15S形 ワンボードアナンシェータ

仕様

制御電源	定格電圧	DC24V
	許容変動	±20%
	許容リップル	10%以内
ランプ電源	定格電圧	DC24V
	許容変動	+20%まで(下限はランプ定格にしたがう)
	許容リップル	48%以内(全波整流の脈流電圧可)
警報入力	入力方式	有接点(NOまたはNC)無接点入力も可
	信号レベル	"L" 0~2V(DC) "H" 制御電圧±2Vの範囲
	入力電流	約7mA(入力抵抗:約3.3kΩ)
	遅延時間	約30ms
動作テスト入力 ランプテスト入力 ブザーストップ入力 ACK入力 リセット入力	入力方式	有接点(NOまたはNC)、無接点入力も可 "L" でACTIVE
	信号レベル	"L" 0~2V(DC)、"H" 制御電圧±2Vの範囲
	入力電流	約7mA(入力抵抗:約3.3kΩ)
	遅延時間	約30ms
フラッシュャー入力 Sフラッシュャー入力 Qフラッシュャー入力 ファースト入力	入力方式	無接点 有接点も可(ANIC-15Sの出力端子から供給)
	信号レベル	"L" 0~2V(DC) "H" 制御電圧±2Vの範囲
	入力電流	約7mA(入力抵抗:約3.3kΩ)
	遅延時間	約30ms
ランプ出力	出力方式	オープンコレクタ
	出力容量	250mA max.
ブザー出力 モニタ出力	出力方式	オープンコレクタ
	出力容量	250mA max.
フラッシュャー出力 ファースト出力	フラッシュャー周期	クイックフラッシュャー:160ms スローフラッシュャー:2s 標準フラッシュャー:1s (いずれもデューティは50%)
	回路方式	無接点強制インターロック方式
ファーストアウト回路	回路方式	無接点強制インターロック方式
	分解能	40ms以上
消費電流		400mA max.(全入力ON時)
耐ノイズ	コモンモード	1000V(1μs)(ノイズシミュレータによる)
収納回路数		主回路15 補助回路7
使用周囲温度		-10℃~+50℃
相対湿度		45%~85%
保存温度範囲		-25℃~+85℃
絶縁抵抗		100MΩ以上(DC500Vメガにて充電部とFG間)
耐電圧		AC1500V 1分間(充電部とFG間)
耐振動(耐久)		50m/s ² (約5G)10~55Hz
耐衝撃(耐久)		500m/s ² (約50G)
重量		約1.8kg

標準構成図

ANIC-15S形を2台以上使用する場合の標準構成図です。単独で使用する場合はNo.1ボードのみの構成で使用します。



ANIC

ワンボードアナンシェータ

ANIC-15S形 ワンボードアナンシェータ

☒ シーケンスパターン

種類	適合規格(注1)		設定スイッチの位置(注2)		動作チャート
	ISA	JIS	SW2	SW1	
1 基本動作 (ノーロックイン)	A-1, 4	A-1	BZ2出力モード モニタ出力モード 	 または 	 (注) BSよりもACKが優先されます。
2 基本動作 (ロックイン)	A-1	AM2	BZ2出力モード モニタ出力モード 	 または 	 (注) BSよりもACKが優先されます。
3 記憶動作	M-1	---	BZ2出力モード モニタ出力モード 	 または 	 (注) 1. BSよりもACKが優先されます。また、ACKとRSTの間にはインターロックあり。 2. 警報入力が残っている状態でRSTを行っても状態の変化は起こりません。
4 常時強点灯	---	1RA1	BZ2出力モード モニタ出力モード 	 または 	 (注) RST入力の入った状態での動作テストは、CASE 1と同一シーケンスとなります。
5 ファーストアウト 動作	F1A-1	---	BZ2出力モード モニタ出力モード 	 または 	 (注) 1. BSよりもACKが優先されます。 2. ファーストアウト回路の解除はACKで行います。
6 ファーストアウト 動作	F2A-1	---	BZ2出力モード モニタ出力モード 	 または 	 (注) 1. BSよりもACKが優先されます。 2. ファーストアウト回路の解除はACKで行います。

ANIC-15S形 ワンボードアナンシェータ

種類	適合規格(注1)		設定スイッチの位置(注2)		動作チャート
	ISA	JIS	SW2	SW1	
7	ファーストアウト動作	F3A-1,3	BZ2出力モード モニタ出力モード または 	 (注) 1. BSよりもACKが優先されます。また、ACKとRSTの間にはインターロックあり。 2. ファーストアウト回路の解除はRSTで行います。	
8	リターンアラーム動作	R	BZ2出力モード モニタ出力モード または 		
9	ファーストアウト動作	F2M-1	モニタ出力モードのみ または 	 (注) 1. BSよりもACKが優先されます。また、ACKとRSTの間にはインターロックあり。 2. 警報入力が残っている状態でRSTを行っても状態の変化は起りません。 3. ファーストアウト回路の解除は、ACKで行います。	
10	ファーストアウト動作	---	モニタ出力モードのみ または 	 (注) 1. BSよりもACKが優先されます。また、ACKとRSTの間にはインターロックあり。 2. ファーストアウト回路の解除は、RSTで行います。	
11	ファーストアウト動作	---	モニタ出力モードのみ または 	 (注) 1. BSとACKの間にはインターロックあり。BSの後でないとACKは成立しません。 2. ファーストアウト回路の解除はACKで行います。	
12	ファーストアウト動作	---	モニタ出力モードのみ または 	 (注) 1. BSよりもACKが優先されます。また、ACKとRSTの間にはインターロックあり。 2. 警報入力が残っている状態でRSTを行っても状態の変化は起りません。 3. ファーストアウト回路の解除はRSTで行います。	

ANIC
ワンボードアナンシェータ

ANIC-15S形 ワンボードアナランシェータ

種類	適合規格(注1)		設定スイッチの位置(注2)		動作チャート
	ISA	JIS	SW2	SW1	
13 ファーストアウト 動作	—	—	モニタ出力 モードのみ 2 <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/>	1 2 3 4 5 6 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> OFF	<p>(注) 1. 1次入力はメモリタイプ、2次以降の入力はノーロックイン 2. BSよりもACKが優先されます。また、ACKとRSTの間にはインターロックあり 3. ファーストアウト回路の解除はRSTで行います</p>
14 リターンアラーム 動作	—	—	モニタ出力 モードのみ 2 <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/>	1 2 3 4 5 6 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> OFF	
15 リターンアラーム 動作	—	—	モニタ出力 モードのみ 2 <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/>	1 2 3 4 5 6 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> OFF	
16 リターンアラーム 動作	—	—	モニタ出力 モードのみ 2 <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/>	1 2 3 4 5 6 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> OFF	

BS : BUZZER STOP ACK : ACKNOWLEDGE RST : (MANUAL)RESET

(注1) ISA : ANSI/ISA-S18.1 1981

JIS : F0412-1977

(注2) ①収納されている15のアナランシェータ回路を1系統で使用する場合「モニタ出力モード」、分割して2系統で使用する場合「BZ2出力モード」を選択ください。

②また「BZ2出力モード」の場合、SW1の回路番号1~3はGROUP 1側、回路番号4~6はGROUP 2側のシーケンスパターンを設定できます。

③「BZ2出力モード」により2つの異なったシーケンスパターンを実行する場合、ファースト選別回路とリターンアラーム側のブザー出力は1回路しかありませんのでご注意ください。

したがってGROUP1、GROUP2共にファーストアウト動作形を選んだ場合、各GROUPごとに独立したファーストアウトをとることはできません。

同様にGROUP1、GROUP2共にリターンアラーム動作形を選んだ場合も各GROUPごとに独立したリターンアラーム出力をとることはできません。

④設定スイッチ「SW1」「SW2」いずれも黒色部がディップスイッチの位置です。



ANIC-15S形 ワンボードアナンシェータ

☑ 入出力部

● 入力側端子台

端子番号	端子部名称	内容
C1	BS	ブザーストップ入力
C2	ACK	確認(ACK NOW LEDGE)入力
C3	RST	リセット入力
C4	FLASHER INPUT	フラッシュ入力
C5	Q.FLASHER INPUT	クイックフラッシュ入力
C6	S.FLASHER INPUT	スローフラッシュ入力
C7	FIRST SIG.INPUT	ファースト信号入力
C8	FUNCTION TEST	ファンクションテスト入力
C9	LAMP TEST	ランプテスト入力
A1 A15	ALARM SIGNAL INPUT	警報入力 1 警報入力 15

端子番号	端子部名称	内容
B 1 B15	LAMP OUTPUT	ランプ出力 1 ランプ出力 15
C17	DC(-)	制御用電源
C18	DC(+)	
C19	FG	フレームグランド

等価回路

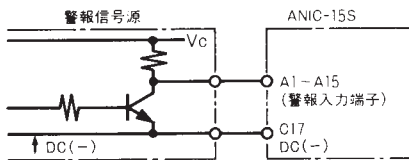
● 出力側端子台

端子番号	端子部名称	内容
C10	BUZZER1 OUTPUT	ブザー(1)出力
C11	RETURN BZ OUTPUT	リターンアラーム側ブザー出力
C12	MON/BZ2 OUTPUT	モニタ出力またはブザー(2)出力
C13	FLASHER OUTPUT	フラッシュ出力
C14	Q.FLASHER OUTPUT	クイックフラッシュ出力
C15	S.FLASHER OUTPUT	スローフラッシュ出力
C16	FIRST SIG.OUTPUT	ファースト信号出力
B 1 B15	LAMP OUTPUT	ランプ出力 1 ランプ出力 15
C17	DC(-)	制御用電源
C18	DC(+)	
C19	FG	フレームグランド

等価回路

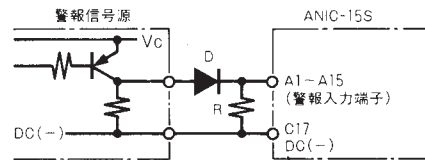
● 警報入力が無接点の場合

① NPNトランジスタ出力の場合(オープンコレクタ出力を含む)



- 注 1. 警報信号源のVcは50V以下。
 2. NPNトランジスタがONで「ALARM」の場合、設定スイッチ S W2,3のNO/NC切替えはNO側にしてください。
 3. 警報信号源のトランジスタは耐電圧35V以上、Ic≧20mAのものに限ります。

② PNPトランジスタ出力の場合(オープンコレクタ出力を含む)



- 注 1. 警報信号源のVcは24V以上、50V以下。
 2. Rは470Ω～680ΩでW数は2(Vc/R)・R以上。
 3. PNPトランジスタがONで「ALARM」の場合、設定スイッチ S W2,3のNO/NC切替えはNC側にしてください。
 4. 警報信号源のトランジスタはIc≧100mA、Dの逆耐圧は50V以上としてください。

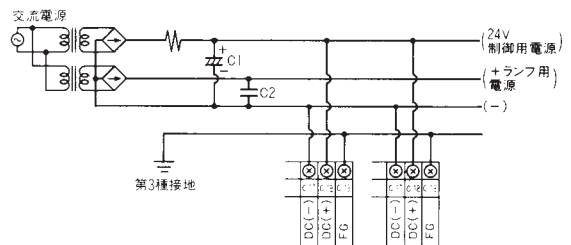
☑ 電源回路部

電源は全波整流回路としてください。ランプ側負荷は大きく変動するため、ランプ用電源と制御用電源は2系統に分けることをお奨めします。制御用電源は平滑コンデンサC1を必要としますがランプ用電源ではとくに必要としません。ノイズ吸収用の小さなコンデンサC2のみ接続ください。

C1 ≧ 660μF × n (ANIC-15Sの接続台数)
 (耐圧は50V以上)

R = 1Ω以下 [抵抗の定格電力 W ≧ 4 × (0.4 × n)²]

C2 = 0.01μF ~ 0.1μF (耐圧は100V以上)



(注) 制御用電源に和泉・PSRシリーズスイッチングパワーサプライもご使用いただけます。

ANIC

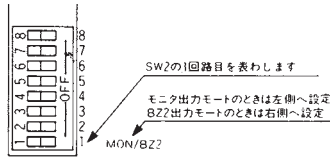
ワンボードアナンシェータ

ANIC-15S形 ワンボードアナンシェータ

☒ 設定スイッチと手順

1. 動作モードの設定

この設定は設定スイッチ「SW2」の1回路目ディップスイッチで行います。収納されている15のアナンシェータ回路を1系統で使用する場合「モニタ出力モード」、分割して2系統で使用する場合「BZ2出力モード」を選択してください。



①モニタ出力モード

15のアナンシェータ回路は同一シーケンスパターンで動作し、1系統の警報システムとなります。

②BZ2出力モード

15のアナンシェータ回路は2系統に分割して使用することができます。たとえばアナンシェータシステムが重故障と軽故障に分れる場合などに使用します。

第1系統(GROUP1)は1回路目から5回路目までです。

第2系統(GROUP2)は6回路目から15回路目までです。

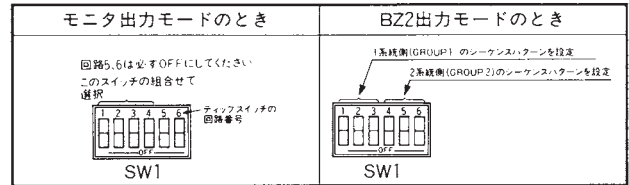
それぞれの系統ごとに異なったシーケンスパターンを選択できます。

2. シーケンスパターンの設定

この設定は設定スイッチ「SW1」のディップスイッチにより16種類のシーケンスパターンから最適なものを選択できます。動作モードが「モニタ出力モード」のとき16種類から1つを

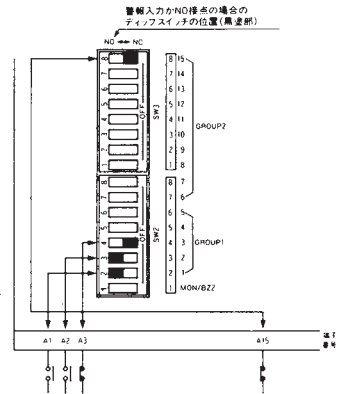
選択できます。「BZ2出力モード」のとき8種類から異なった2つのパターンが選択できます。

シーケンスパターンの種類と設定スイッチ「SW1」「SW2」の各ディップスイッチの位置についてはシーケンスパターンの項をご参照ください。

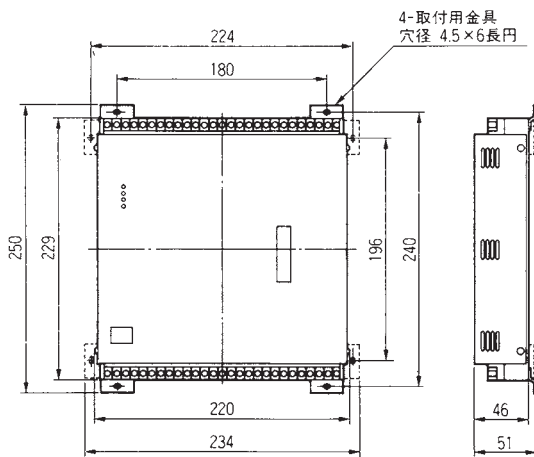


3. NO/NC切替

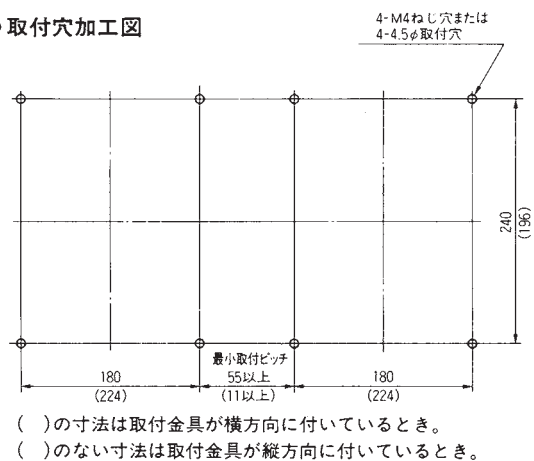
これは設定スイッチ「SW2」「SW3」のディップスイッチで行います。入力される警報入力接点がNO(ノーマルオープン)か、NC(ノーマルクローズ)かを各接点ごとに設定します。なお、入力が無接点の場合、入出力部の項をご参照ください。



☒ 外形寸法図

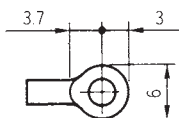


● 取付穴加工図



☒ ご使用に際して

1. ランプ出力にLED球を使用する場合、極性に注意して接続ください。
2. 使用できる圧着端子には制限があります。適合圧着端子は下記のとおりです。



設置や配線など詳細についてはユーザーズマニュアルをご参照ください。

☒ ご注文に際して

- ANIC-15Sには下記の付属品を含んでいます。
 - 取付用金具 4個
 - 設定スイッチ用カバー 大小各1個
- ご注文の際は形番でご指定ください。